

令和7年度 事業報告書 決算報告書



武道フェスティバル



奎蔵山登山ツアー

一般財団法人新庄市スポーツ協会

目 次

1. スポーツ振興事業

《1-1》スポーツ普及推進事業	(P)
(1) 新庄市総合体育大会	1
(2) こども・はばたき事業	2
(3) 自主事業の実施	2
(4) 賛助会員（スポーツサポーター）制度	4
(5) 広報事業	4
《1-2》育成強化、競技力向上に関する事業	
(1) 育成強化事業費交付	5
(2) 育成強化事業	6
(3) スポーツ少年団育成事業	6
(4) スポーツ表彰事業	8
《1-3》新庄サイクルスポーツセンター管理事業	8
《1-4》最上地区スポーツ協会連絡協議会との共同事業	8

2. 施設管理事業

《2-1》新庄市スポーツ施設指定管理事業	9
《2-2》山形県最上中央公園指定管理事業	10
《2-3》新庄市都市公園管理事業	12
《2-4》新庄市公有財産管理事業	12

3. 法人管理事業

法人管理事業	12
--------	----

参考資料

○令和7年度役員体制	14
------------	----

一般財団法人新庄市スポーツ協会

令和7年度事業報告書

1. スポーツ振興事業

《1-1》スポーツ普及推進事業

(1) 新庄市総合体育大会

新庄市の委託を受け、新庄市総合体育大会実行委員会を組織し、第47回新庄市総合体育大会を開催した。

開催は、スポーツ協会から実行委員会に委託費全額を交付し、競技団体とスポーツ協会が8月から2月までに13競技で計画・実施した。

参加者の状況は、選手1,140人（前年度1,278名：138人減）、審判役員326人（前年度317人：9人増）、参加者総数1,466人（1,595人：129人減）となった。

競技種目	開催期日	会 場	参加選手数
野球	R7. 8. 9 R7. 8. 10	新庄市民球場	94人
バレーボール	R7. 8. 31	新庄市体育館	122人
柔道	R7. 9. 15	新庄市武道館	42人
ソフトボール	R7. 10. 11	日新中グラウンド	44人
空手道	R7. 10. 12	山屋セミナーハウス	40人
剣道	R7. 10. 12	日新小体育館	48人
ソフトテニス	R7. 10. 4 中学校 R7. 10. 19 小学校 R7. 10. 19 高校 R7. 12. 7 一般	真室川町民テニスコート 新庄市テニスコート 〃 新庄市体育館	146人
弓道	R7. 10. 13	新庄市武道館弓道場	39人
バドミントン	R7. 10. 19	新庄市体育館	204人
合気道	R7. 11. 9	新庄市武道館	29人
卓球	R7. 11. 15	新庄市体育館	99人
バスケットボール	R8. 2. 7 R8. 2. 8	萩野学園体育館	145人
サッカー (フットサル)	R8. 2. 11 中学生 R8. 2. 14 小学生 R8. 2. 15 高・一般	新庄市体育館	88人

選手計1,140人

◇要した経費 新庄市総合体育大会実行委員会負担金 925千円

《成果等》

- ・熱中症対策等を講じながら13競技種目で実施することができた。参加者総数については、1,140人で令和6年度と比べ138人減少したが、幅広い年代の参加者が競い合う機会を提供できた。

(2) こども・はばたき事業

■幼児期からのACPの推進

子供の体力低下や運動離れは全国的に大きな課題となっている中、新庄市スポーツ協会は、子どもの時期によく遊び、よく運動し、いろいろな体の動かし方を身につけ、汗をかくことの爽快感を感じ取ることが、生涯を通じて運動を取り入れた健康的な生活に繋がると考え、アクティブ・チャイルド・プログラム＝ACPに取り組んでいます。

■はばたきクラブ

日頃運動する機会の少ない子供（スポーツ少年団未加入者等）を対象に、平成29年度から日新小学校に「日新はばたきクラブ」を立ち上げ、また、令和3年度から新庄小学校に「新庄はばたきクラブ」を立ち上げて活動している。令和5年度より、これまでの3・4年生までの対象範囲を5・6年生までに広げて実施した。令和7年度は授業カリキュラム上の都合で日新は休止となった。

クラブの活動は、「走る・飛ぶ・投げる」を中心にした遊びで、2週に1回、1回90分程度、思いっきり体を動かす楽しさを感じてもらう事を主眼に実施した。児童は、毎回夢中になって遊び、運動し、次を楽しみにしており、貴重な運動の機会を提供できた。また、新庄市並びに市スポーツ指導員・外部指導員の方から協力を頂き、活動を支援していただいた。

〔活動概要〕

- | | |
|---------|--|
| ①クラブ会員数 | 新庄はばたきクラブ25名 |
| ②入会費 | 2,000円　：月会費(7カ月) 500円 |
| ③活動日程 | 通常活動：6月～2月：(火曜日)計22回
親子行事：9月27日(土)・2月28日(土)　計2回 |
| ④指導 | 今田康平氏(リンクス)、長谷川智里(地域おこし協力隊) |



《成果等》

・参加児童はもとより、保護者にも「楽しんでやっている」「回数を増やして」など大変高評価を得ている。また、親子行事も年2回実施することができた。指導面では、ACPの訓練を積んだ職員の他、外部指導員の協力体制をとることができ、更なる活動の充実に展望を持つことができた。新庄小学校の授業カリキュラムも変更となり、児童の待機時間が長くなったことへの対応が課題となっている。

◇要した経費　はばたき事業　300千円（受取会費合計　82千円）

(3) 自主事業の実施

① ステップ体操

- | | |
|------|---|
| 目　　的 | 軽運動を通じて日常動作の維持改善や元気の向上を図る。 |
| 内　　容 | 4月～3月の間で、インストラクターを迎え、音楽・リズムに合わせて11cm高のステップ台の昇降運動を行う。
月曜日コース　18:00～19:00　会員5名　全36回実施
水曜日コース　17:00～18:00　会員4名　全45回実施
月・水曜日コース　　　　　　会員5名　全81回実施 |

講　　師　インストラクター：健康運動指導士　沓澤保代　氏

参　加　者　40代～70代の男女　延べ728人参加

参　加　費　年会費（入会費）2,000円　月会費1コース2,500円、2コース3,500円

成　果　等　口こみや体験等により大変盛況で入会者が増え、会場を市民プラザに移した。足が動くようになった。体力がついた。骨密度の数値が非常に良くなった。姿勢が良くなった。等々多くのうれしい言葉が集った。



② チェアビクス

目 的 足腰に不安のある方でも、イスに座ってできる運動。体力・元気の向上を図る。

内 容 4月～3月の間で、インストラクターを迎え、
イスに座って、音楽に合わせて体を動かす。

毎週木曜日 10:00～11:00 全48回実施

講 師 インストラクター：健康運動指導士 杵澤保代氏

参 加 者 70代～80代の女性 延べ500人参加

参 加 費 年会費（入会費）2,000円 月会費1,500円

成 果 等 昨年に引き続き楽しいと継続加入の方が多く、更に検診の結果も良くなったと好評で参加率も高かった。



③ エアバレーGAME in 新庄

目 的 働きざかり、子育て世代を中心に、思いっきり体を動かす機会を提供し、仲間とともに体を動かす楽しさ、爽快感を感じて、心身の健康増進を目的に実施した。

内 容 ビニールボールを使用したバレーボール形式のゲームを実施。ハロウィンの仮装参加を促し、「楽しむ」運動を第一に時間短縮を図って実施した。

期日場所 令和7年11月2日（日）：市体育館 参加者 13チーム：88人



成 果 等 参加団体数、参加人数が前年度を上回り、ファミリー部門の参加が増えた。市スポーツ推進員の協力を得、スムーズな大会運営ができた。参加しているチームも固定化してきており、新規のチームも参加できるようPRする必要がある。

④ キッズサッカーフェスティバル

目 的 新庄地区サッカー協会キッズ委員会と協働し、幼児を対象にサッカーを通じて体を動かす機会を提供し、その楽しさを伝え、心身の健康増進を目的に実施した。

内 容 ミニコートで5分間のミニゲームを実施。

期日場所 令和7年10月24日（金）：新庄市陸上競技場

参 加 者 はぐくみ保育園、にこにこ東園、なかよし保育園、パリス幼稚園、新庄保育園、舟形ほほえみ保育所、最上あたご保育園、大堀保育所、泉田保育所から178名

成 果 等 終始笑顔で元気にフィールドを駆け回り、サッカーの魅力に触れてもらった。また、父兄・祖父母の見学者も多くあり、親子ともども楽しめる事業となった。

⑤ 健康ウォーキング 健康の維持増進を目的に、ウォーキングが習慣となるよう「ウォーキング日誌」を体育施設や他の市施設に配置し、取組んだ市民が自ら設定した目標歩数、年間50万歩から200万歩の目標達成者13名に認定証を交付した。

・完歩達成者（認定者） (H29)16人 (H30)13人 (R元)14人 (R2)11人 (R3)10人
(R4)11人 (R5)12人 (R6)13人 (R7)13人

⑥ あべじゅ〜体操

50歳以上を対象に、「あべじゅ〜体操」として介護予防を目的に考案された「いきいき百歳体操」と「かみかみ百歳体操」を4月から通年、毎週月・木曜日に実施した。

実施回数 月曜日41回、木曜日51回・参加者数 延べ541人

一回平均参加人数人 月曜日9人、木曜日3人

内 容 いきいき百歳体操40分：かみかみ百歳体操40分
体力測定1回（11月10日）

成 果 等 参加者が、集まってする体操を楽しみにしていると好評であり、体力測定で体力を確認しながら体を動かす機会を提供でき、ニーズが高い。



⑦ 武道フェスティバル

目 的 武道館の利活用向上と武道の底辺拡大を図る。

内 容 柔道・剣道・空手道・弓道・合気道の5団体が一堂に会し、演武や実技指導など行った。(弓道は大会のため、見学のみ)

期日場所 令和7年11月3日(月):新庄市体育館・武道館

参加者 約200人

成果等 今年度2回目の企画であったが、昨年より参加者が少なかった。団体間のコミュニケーションをとる良い機会になった。次年度以降広くPRする必要がある。



⑧ マジカルスノーランド

目 的 子供の冬の遊び場提供することで市民スキー場の更なる利用促進を図る。

内 容 小学生低学年以下を対象に雪中宝さがしなどの雪遊びを実施

期日場所 令和8年2月22日(日):新庄市民スキー場

参加者 約120人

成果等 多くの親子連れでにぎわうイベントで好評を得られた。スキー場を会場に「雪遊び」で思いっきり体を動かす機会を提供できた。

⑨ 杣蔵登山体験ツアー

目 的 健康増進と世代間の交流を図るため、幅広く多くの市民が気軽に参加できる登山体験を実施する。

期日場所 令和7年10月11日(土):杣蔵山 山岳ガイド:田中康裕氏

参加者 約19人(ガイド1、補助1、スタッフ5、男性4、女性8)

成果等 2年ぶりの開催であったが、参加者は会話を楽しみ景色を十分堪能できた。

◇市民スポーツ事業に要した経費 1,228千円

(4) 賛助会員(スポーツサポーター)制度

令和7年度は、64の団体・個人から182口・182,000円の会費収入があった。会費は、ACP事業(はばたきクラブ)、広報紙の作成経費に充当した。収支決算は以下のとおり。
収入328,729円-支出182,000円=146,729円・・令和8年度に繰り越す。

収 入		支 出		
受取会費	182,000円	広報事業	印刷製本費(8月号/10月号)	100,000円
繰越金	146,213円	ACP事業	はばたきクラブ	82,000円
利息	516円			
収入合計	328,729円		支出合計	182,000円

(5) 広報事業

協会広報誌「SPORTS SHINJO」は5回発行した。わかりやすく、簡便な記事にして、興味を持ってもらえることを目標に発行した。「伝わる情報」の発信を基本に、表彰受賞者や競技スポーツ・軽スポーツに取り組む多くの市民を紹介した。

《成果と課題》

「伝わる情報」の発信を基本に取り組んだが、より多くの市民に見てもらえる、身近でいきいきとした情報の提供になお一層工夫する必要がある。

	発行年月	記事内容	
No.52	令和7年6月	・スポーツ少年団結団式 ・スポーツ施設受付窓口案内 ・スポーツ協会年間予定表 ・市民プールオープン日のお知らせ ・賛助会員の募集	

No.53	令和7年8月	・インターハイ出場者紹介（30名）、決意表明（2名） ・第47回新庄市総合体育大会日程 ・利用団体紹介（新庄地区柔剣道錬成会） ・スポーツ協会事業イベント開催案内 ・市民プール営業日、料金案内 ・賛助会員の募集	
No.54	令和7年10月	・滋賀国民スポーツ大会出場選手紹介（9選手） ・利用団体紹介（新庄東高等学校硬式テニス部） ・施設紹介：最上中央公園屋内多目的施設（すぽーていあ） ・賛助会員加入状況・加入者紹介 ・スポーツ協会の事業紹介	
No.55	令和7年12月	・市民スキー場営業PR・料金表 ・スポーツ協会事業イベントの報告 2025エアバレーGAME in 新庄、武道フェスティバル、 家族ではばたき、杵蔵登山体験ツアー、 キッズサッカーフェスティバル、モルック体験会 ・賛助会員の募集	
No.56	令和8年3月	・新庄市・スポーツ協会体育表彰式 ・受賞者紹介（76名、6団体）・受賞者コメント ・令和7年度新庄市総合体育大会結果 ・健康ウォーカーの紹介 ・マジカルスノーランド ・賛助会員加入状況	

◇広報事業に要した経費 640千円

《1-2》育成強化、競技力向上に関する事業

（1）育成強化事業費交付

令和7年度は、競技団体10・学校体育団体2の計12団体に対し育成強化事業費を交付した。熱中症対策等を取りながらほぼ計画通り実施できた。

競技種目名	交付決定額	返還額	交付確定額	強化事業実施の状況（報告より）
空手道	150,000	0	150,000	講習会／強化育成練習会
剣道	150,000	0	150,000	強化育成練習会／審判講習会
弓道	150,000	0	150,000	強化育成練習会／指導者講習会／弓道体験教室
柔道	150,000	0	150,000	強化育成練習会／審判・指導者講習会
サッカー	150,000	0	150,000	普及・指導者養成／強化育成練習会
スキー	150,000	0	150,000	バッジテスト／ジュニアレッスン／市内小学校スキー授業支援
自転車	150,000	0	150,000	強化育成練習会
バドミントン	150,000	0	150,000	強化育成練習会
ソフトテニス	150,000	0	150,000	講習会／強化育成練習会
バレーボール	150,000	0	150,000	普及・指導者養成
小体連	110,000	0	110,000	陸上競技記録会
中体連	150,000	0	150,000	強化育成練習会（バスケット・バドミントン）
計	1,760,000	0	1,760,000	

◇競技団体育成強化事業費交付に要した経費 1,760千円

(2) 育成強化事業

① サッカースクール（最上地区スポーツ協会連絡協議会との共同事業）

目 的 専門的な知識と指導経験を有するプロのコーチを招き、参加者の技術向上のみならず、主体性や協調性を促し、継続的な育成を目的とする。

内 容 低学年と高学年に分かれ、ボールに慣れながら楽しむことを中心に、基礎技術の向上に加えチームプレーや判断力を意識したより実践的な練習を行った。

期日場所 令和7年10月18日（土）：新庄市陸上競技場

参 加 者 最上郡内スポーツ少年団 37名

成 果 等 プロの指導を受ける貴重な機会となり、子供たちは真剣な表情で取り組みながらもサッカーの楽しさを存分に感じていた。



② 出前講習

目 的 手軽にトレーニング技術を習得できるように部活等に指導者を派遣

実施内容 ライン（ゴム状の帯）を使って音楽に合わせたトレーニング

指 導 者 一般社団法人スポーツリズムトレーニング協会認定普及員

※上記内容で学校関係機関等に案内しているが、令和7年度は、要請がなかった。

◇育成強化事業に要した経費 34千円

《成果と課題》

・計画した12団体に強化事業費を交付した他、交付先ではほぼ計画通りに実施できた。また、サッカースクールでは、プロの指導を受ける貴重な機会となり、参加者の技術向上のみならず、主体性や協調性を学ぶことができた。一方で、少子化による競技人口の減少などの課題があげられる。

(3) スポーツ少年団育成事業

〈会議〉

① 本部員会の開催

第1回 5月28日（令和6年度事業報告・決算、令和7年度事業計画・予算）

第2回 3月25日（令和7年度役員体制、結団式、スポGOMI）

② 正副本部長会議（運営員会合同会議）

第1回 4月23日（結団式、県代議員の選出）

第2回 5月22日（本部員会、県スポーツ少年大会）

第3回 10月21日（令和7年度登録状況、県・育成母集団研修会）

第4回 2月12日（育成母集団研修会、本部員会）

第5回 3月18日（本部員会、令和8年度結団式、スポGOMI）

◇年度別登録状況

（単位：人）

			R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
単位団			32団	31団	27団	25団	24団
団 員	小学生	男	300	308	269	239	229
		女	184	177	174	178	175
		計	484	485	443	417	404
	中学生	男	60	35	38	39	37
		女	48	44	44	25	33
		計	108	79	82	64	70
	高校生	男	1	0	0	0	0
		女	1	1	0	0	0
		計	2	1	0	0	0
	計		595	565	525	※482	※475

指導者	指導者（有資格者）	115	104	96	90	92
	役員	12	11	13	12	13
	スタッフ	38	46	29	33	26
	計	165	161	138	135	131

※R6、R7の団員数計は幼児1人を含む

令和7年度競技種目別登録団

1. バスケットボール（5団・132人）

- ①萩野ミックスビッキーズミニバスケットボール
- ②日新ミニバスケットボール
- ③LITTLE RABBITS INSPIRE
- ④ NEW DIRECTIONS
- ⑤ 沼北ライジングスターズ

2. 軟式野球（4団・74人）

- ①日新レッドスターズ
- ②新庄ビクトリーパワーズ
- ③萩野フルスイングス
- ④明倫グリーンベレーズ

3. ソフトテニス（1団・51人）

- ①新庄ジュニアソフトテニス

4. 柔道（4団・35人）

- ①日新柔道
- ②新庄地区柔剣道錬成会（剣道と重複）
- ③山科道場
- ④神室柔道

5. バドミントン（3団・49人）

- ①沼田バドミントン
- ②日新バドミントン
- ③奥羽ジュニアバドミントンクラブ

6. サッカー（2団・41人）

- ①泉田サッカー
- ②日新サッカー

7. バレーボール（1団・12人）

- ①日新白鳩バレーボール

8. 剣道（2団・32人）

- ① 新庄地区柔剣道錬成会（柔道と重複）
- ②東山錬成会

9. 空手道（2団・24人）

- ①新庄市空手道
- ②萩野空手道

10. 陸上（1団・25人）

- ①SMAC

〈行事〉

- ① 新庄市スポーツ少年団結団式及び地域貢献活動「スポGOMI in 新庄」4月27日（日）
 - ・新庄市スポーツ少年団結団式：14団・207名が参加。
 - ・スポGOMI in 新庄：75チーム・320名が参加。

- ② スポーツ少年団育成助成金：アランマーレ山形バレーボールクリニック 2025 に運営協力費
10,000円

- ③ 山形県少年少女スポーツ交流大会：10月6日を基準日として各競技が開催された。
14競技165名が参加。

- ④ 山形県スポーツ少年大会：8月2日（土）～4日（月）川西町農村環境改善センター

- ⑤ 指導者・育成母集団研修会：11月15日（日）鶴岡市 役員含む5名が参加。

- ⑥ 新庄市スポーツ少年団指導者・育成母集団研修会 2月22日（日）

会 場：新庄市民プラザ3階第5・6研修室

講 演：「スポーツ活動に励む児童・生徒のケガ予防とストレッチについて」

講 師：高橋聖秀氏（ほりばた整骨院院長）

受講者数 45名

◇スポーツ少年団事業に要した経費 705千円

（内訳） 山形県本部登録料479千円／県交流大会80千円／活動助成金24千円／講習会費（育成母集団）10千円／県スポ少最上地区協議会負担金24千円／諸会議・交流会2千円／事務費 86千円

《成果と課題》 団数についてはバスケットボール1団が減少し、団員数は7名減少の475名となった。生徒児童数の減少が主な要因と思われるが、その中で団員数を増やす団があり、その取り組みを参考にしたい。またその一方では、クラブ化活動が増えている。今後は新たに指導者を目指す方へのPRを推進し、指導者確保にも努めていきたい。

(4) スポーツ表彰事業

表彰規程に基づき、新庄市と合同で次のとおり開催した。

〔日 時〕 令和8年2月14日(土)・午前10時

〔場 所〕 新庄市民プラザ大ホール

〔表 彰〕

特別表彰2名

：星川俊輔（新庄東高等学校2年）

【第78回全国高等学校陸上競技対抗選手権大会 砲丸投第2位】

：柿崎仁（新庄北高等学校3年）

【第75回全国高等学校スキー大会クロスカンントリー 男子10km フリー第1位】

スポーツ振興功労賞3名

：相澤芳彦（東山錬成会スポーツ少年団）

：伊藤卓雄（新庄地区陸上競技協会）

：武田政夫（新庄市空手道連盟）



殊 勲 賞 36名（一般・大学生6・高校生23・中学生7）

4団体（一般1・高校生3）

飛 翔 賞 35名（高校生7・中学生1・小学生27）

2団体（小学生2）

◇表彰事業に要した経費 255千円（内報償費240千円）

《成果と課題》 被表彰者の対象が年々減少傾向にあるが、父兄の前で選手を顕彰することができた。顕彰することで少しでも競技者の励みに繋がれば有意義である。今年は各団体において永年にわたり役職につき、本市のスポーツ振興で功績のあった3名にスポーツ振興功労賞を授与することができた。また、全国大会で優秀な成績を収めた2名を特別表彰することができた。

《1-3》新庄サイクルスポーツセンター管理事業

令和7年度は、環境維持の作業としてフェンスの蔦除去、草刈を行った。東日本大震災で生じたバンクの亀裂に関しては、昨年と変わらない状況を確認した。また、7年度から3か年間、国交省河川浚渫工事に伴う土砂の一時仮置き場として無償で貸与することとした。

《1-4》最上地区スポーツ協会連絡協議会との共同事業

○サッカースクール 期日場所 令和7年10月18日(土)：新庄市陸上競技場
参 加 者 最上郡内スポーツ少年団 37名 (再掲)

2. 施設管理事業

《2-1》新庄市スポーツ施設指定管理事業

1. 新庄市の指定管理者として、次の10のスポーツ施設を管理運営した。

単位：人、円

施設名	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
体育館	利用人数	29,549	34,604	37,815	35,370
	料金収入	1,109,130	1,082,400	1,530,030	1,987,509
市民球場	利用人数	30,779	26,693	27,411	26,468
	料金収入	1,289,590	1,217,740	1,175,430	1,307,270
武道館	利用人数	11,336	12,513	12,198	11,605
	料金収入	803,880	808,095	819,985	818,760
陸上競技場	利用人数	14,426	16,192	13,650	11,784
	料金収入	224,975	223,275	201,625	356,300
東山テニスコート	利用人数	14,965	11,809	8,932	8,917
	料金収入	1,091,720	1,051,930	1,074,860	1,151,660
福田テニスコート	利用人数	53	29	63	28
	料金収入	5,800	2,200	7,200	1,800
福田運動広場	利用人数	2,065	1,272	1,114	1,152
	料金収入	32,100	33,400	35,950	29,910
横根山運動広場	利用人数	179			
	料金収入	1,500			
市民プール	利用人数	1,715	3,901	4,082	4,144
	料金収入	99,200	232,480	231,840	371,240
市民スキー場	利用人数	10,936	2,414	10,767	7,840
	料金収入	3,959,750	23,460	3,926,140	3,017,290
北辰屋内運動場	利用人数	3,551	4,896	5,949	5,744
	料金収入	45,000	36,360	63,540	75,193
総 計	利用人数	119,554	114,323	121,981	113,052
	料金収入	8,662,645	5,411,340	9,066,600	9,116,932

(利用増減)

利用者については、各施設で減少傾向となり、前年度を下回った。利用料金については料金改定や新規の団体利用などがあり、前年度を上回った。

○利用人数 令和6年度比 8,929 人、7.3%の減で総利用者は 113,052 人となった。

その中で、増加となった施設は、福田運動広場と市民プールの2施設で、他8施設は減少となった。天候に左右される施設もあるが、近年、スポーツ少年団・部活動・競技人口の減少が大きく影響していると考えられる。

○利用料金 令和6年度比 50 千円、0.56%の増となった。利用料金で体育館が大きく増加したが、わくわく新庄の改修工事により利用者が体育館に流れてきた影響と考えられる。逆にスキー場が大きく減少したが、営業開始が遅れたことによる。他の施設は、料金改定などで増加した施設もあったが、ほぼ昨年並みであった。

市スポーツ施設指定管理の全体収支は以下のとおり。

収 入		支 出	
指定管理料収入	118,273 千円	施設管理経費	123,572 千円
利用料金収入ほか	11,428 千円		
【収入合計】	129,701 千円	収支差引	6,129 千円

2. 指定管理業務の主な業務

- ①施設の使用許可、取消し、その他使用に関する業務
- ②利用料金の徴収、還付、減免に関する業務
- ③使用者の利用調整に関する業務
- ④使用者の安全確保に関する業務
- ⑤施設使用案内、業務の周知等、施設の使用促進に関する業務
- ⑥施設使用に関する統計記録事務
- ⑦施設並びに設備及び備品の維持管理・運営に関する業務
- ⑧行為の許可、使用の禁止または制限に関する業務

3. 施設管理にあたっては、特に次の点を重視した。

- 各施設年2回の使用調整会議等を行い、使用団体の事前希望をもとに案を示し、各施設の使用を円滑に調整するとともに、利用団体の声を聴取した。
- 多くの施設が経年劣化などのため修繕すべき個所を抱えている状況にあり、定期的な点検を実施後市に報告し、必要な注意表示など利用者の安全確保に配慮した。
- 災害・事故発生時に的確に対応できるようマニュアルを作成し、日常業務におけるヒヤリ・ハット情報を職員間で共有し、事故防止に努めた。
- 熱中症対策では、教育委員会通知を基本に、日々の暑さ指数を確認するとともに利用者への注意喚起を行った。
- 施設利用者の要望・意見・苦情には、必要に応じて市の助言を得ながら誠実に対応した。
- 施設内はもちろん建物周辺の環境整備に努め、利用者が気持ちよく利用できるよう努めた。
- 来客や施設利用者には、正確で分かり易い説明、誠実、丁寧な対応を職員全員が心掛けた。

《2-2》 山形県最上中央公園指定管理事業

1. 平成27年度から令和6年度までの10年間を山形県の指定管理者として最上中央公園（すば一ていあ含む）を適切に管理した。特に、熱中症対策や遊具の危険個所の点検に留意して、利用者の安全確保、利用者の利便増進に努めた。

◇すば一ていあ利用状況・指定管理概要（利用人数は有料施設利用者のみ）

項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用人数	15,773	15,633	12,686	11,084
料金収入	3,020,060	3,032,592	2,854,489	3,006,430
指定管理料	21,115,000	21,560,000	21,115,000	21,763,000
その他の収入	582,543	564,802	858,114	453,833
収入合計	24,717,603	25,157,394	24,827,603	25,223,263
管理経費	24,386,974	25,316,746	26,219,484	26,110,257
収支差引残	330,629	▲159,352	▲1,391,881	▲886,994

利用人数）令和7年度は、前年度比▲12.6%・1,602人減となった。例年と比べ大きなイベントや各種大会などの開催が少なく、総利用者は11,084人であった。

利用料金）利用料金の状況は、前年度比で5.3%、152千円の増収となった。これは、昨年度に比べ目的外使用料（駐車場におけるイベント）などで増加したことによる。

管理経費）人件費（給与・法定福利含む。）378 千円、修繕維持費 98 千円、租税公課 95 千円が増となった。逆に減価償却 352 千円、退職給付 160 千円、光熱水費 132 千円、消耗品費 89 千円が減となり、その他はほぼ昨年並みとなった。

収 支）令和 6 年度の支出超過が 1,392 千円であったのに対し、令和 7 年度では、歳入で指定管理料及び利用料金が増収となったものの、依然として管理経費が多く、887 千円の支出超過となってしまった。

2. 自主事業

■スポGOMI in 新庄大会

〔日時〕 4 月 27 日（土）9：50～12：00

〔参加〕 75 チーム・320 名



■花と緑のまちづくり「せせらぎ花壇」植栽事業

〔日時〕 5 月 25 日（日）8：30～12：00

〔場所〕 最上中央公園「せせらぎ花壇」

〔参加〕 参加団体 9 参加者数 約 50 名

〔内容〕 市民に憩いの場を提供する目的で、約 70 m²の花壇へ植栽を行った。



■モルックをやってみよう

〔日時〕 11 月 18 日（土）13：00～16：00

〔場所〕 最上中央公園「すぽーていあ」

〔参加〕 6 チーム 29 名

〔成果等〕 市内外から参加があり世代を超えて楽しめた。

■タグラグビーをやってみよう

〔日時〕 11 月 23 日（日）9：00～11：00

〔場所〕 最上中央公園「すぽーていあ」

〔内容〕 ボール渡し等による体の動き・タグ取りゲーム

〔講師〕 新庄地区ラグビーフットボール協会

〔参加数〕 合計 13 名

〔成果等〕 大人が多かったため、ゲーム形式の体験ができ活気があった。



■ミニ門松アレンジメント

〔日時〕 12 月 14 日（日）13：00～16：00

〔場所〕 最上中央公園「すぽーていあ」

〔内容〕 ミニ門松アレンジメントの作成

〔講師〕 店舗をもたない花屋 IRIE PLAN 増田健太郎氏

〔参加数〕 合計 17 名

〔成果等〕 手軽に作成できるミニ門松アレンジメント。個性を出しながら楽しんでいただけた。



3. 他団体への協力

①第 55 回新庄雪まつり

親しまれる最上中央公園の PR を兼ね、主催者の協力団体として会場管理に携わった。

実施日 令和 8 年 2 月 14 日～15 日

場所 最上中央公園

主催者 新庄青年会議所

入場者 約 11,000 人（主催者発表）

《2-3》新庄市都市公園管理事業

新庄市から委託を受け、次の40カ所の都市公園と緑地を適切に管理した。

最上公園 東山公園 歴史センター脇広場 八幡公園 福田緑地 中央公園
金沢公園 末広公園 足達前公園 常葉町公園 谷地田公園 下田公園 中道公園
千門町公園 沼田公園 中の川公園 金沢東公園 小檜室1号公園 小檜室2号公園
横町緑地 玉の木緑地 上金沢緑地 往還東緑地 横根山工業団地緑地 新町緑地
新田川河川公園 駅前ふれあい広場 駅東口交通広場 泉田川河川公園 西山河川広場
仲山町緑地 清水川緑地①② 宮内町緑地 千門町緑地 松本緑地 前野緑地
駅前交番前 宮内新町緑地 トウメキ緑地 松本ふれあい公園

業務内容

- ① 公園・便所掃除、パトロール、遊具点検、噴水池清掃、早朝作業：公園30カ所
- ② 園内草刈り、法面草刈り：公園・緑地37カ所
- ③ 雪囲い設置・撤去（東屋、照明、樹木）、遊具設置・撤去：公園・緑地25カ所
- ④ 雪下ろし（便所、遊具、東屋、藤棚、駅東口アーケード）：公園24カ所
- ⑤ 害虫駆除、樹木・あじさいの剪定：公園21カ所
- ⑥ 砂場掘り起し：公園5カ所
- ⑦ 消雪設備水抜き：1カ所

◇都市公園管理事業に要した経費 19,477千円

《2-4》新庄市公有財産管理事業

- 1) 新庄市の委託を受け、3カ所の新庄市公有財産を適切に管理した。

仁間処理場跡地、ポリテクセンター跡地、萩野児童館跡地

- 2) 人工芝テニスコート整備業務

(萩野学園・明倫学園・新庄中・日新中を年2回)

◇公有財産管理事業に要した経費 2,055千円

3. 法人管理事業

平成24年4月、新しい公益法人制度における一般財団法人となり、令和7年度も、定款に定める「スポーツを通じた豊かな市民生活の形成に寄与する」との組織理念に即し、スポーツ振興とスポーツ施設管理を一体のものとして、役職員が一丸となって適正かつ効率的に運営した。

① 会議の開催

《理事会》5月20日・9月2日・11月26日・3月17日（4回）

《定時評議員会》6月25日

《評議員選定委員会》5月27日

《スポーツ表彰選考委員会》1月14日

《スポーツ少年団本部員会》5月28日・3月25日

《強化事業費交付審査会》5月14日・6月11日

《三役会議》5月14日・6月11日・8月19日・11月12日・12月22日・2月10日
3月10日（7回）

② 評議員の選任

人事異動により 2 名が辞任し、補充評議員 2 名が選任された。

前任：浅井 純（小体連） ➡ 後任：栗田忠男

前任：鈴木英樹（中体連） ➡ 後任：泉谷一彦

③ 理事の選任及び役員体制

理事等の役員体制については、欠員及び変更はなく、令和 6 年度と同様。

④ 熱中症対策の対応

各施設へ判断基準を掲示するとともに注意喚起を行い、熱中症対策の徹底を図った。

⑤ 諸規程の整備

◎新規設置 2 件

・ 職員の出張に関する規程、新庄市民スキー場索道技術管理者に関する規程

◎一部改正 6 件

・ 給与規程の一部改正（1 件）、臨時職員に関する規程の一部改正（2 件）、

育児・介護休業等に関する規則の一部改正（2 件）、

役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程の一部改正（1 件）

⑥ 経理

随時、公認会計士の指導を得て適正に予算を執行し、及び財産を管理に努めた。また、施設使用料など公金取り扱い、処理手順の厳守、預金通帳・公印保管の徹底など適正管理に努めた。

⑦ 特定資産管理

- (1) スポーツ振興基金の活用を行わず、運用益 3,859 円を基金の設置及び管理に関する規程第 4 条に基づき繰り入れた。

法人運営基金は、機械購入費 3,612,400 円を取り崩し、運用益 5,620 円を基金の設置及び管理に関する規程第 4 条に基づき繰り入れた。

・ スポーツ振興基金 6,853,313 円（前期末比 3,859 円増）

・ 法人運営基金 13,265,664 円（前期末比 3,606,780 円減）

- (2) その他の特定資産

退職手当引当資産

職員の退職金支払に備えるため、積み立て管理している。職員の退職金の資金は、職員の退職金に関する規程第 5 条第 1 項により加入している中小企業退職金共済制度の給付額と、当該給付額で不足する額を退職手当引当資産から補てんし、規定額を給付する。

令和 7 年度は、引当資産不足分 261,420 円を普通預金から充当し、さらに運用益で 2,073 円の増となる。

・ 退職給付引当資産 6,460,399 円（前期末比 263,493 円増）

- (3) その他固定資産（有価証券含まず）

建物、構築物は、サイクルスポーツセンターの廃止による有姿除却により備忘価格（残存価格 12 円）のみの額となった。また、既存の車両、什器備品等を減価償却したほか、7 年度は機械購入があり、前期末残高と比較し 2,710,879 円増加した。

以上により、その他固定資産の合計価格は以下のとおり。

・ その他固定資産 3,300,795 円（前期末比 2,710,879 円増）

令和7年度 役員体制 (令和8年3月31日現在)

理事15人 任期：令和6年定時評議員会終結日～令和8年定時評議員会終結日

	役職	氏名	選出元団体・役職
1	会長	山科通	新庄地区バレーボール協会会長
2	副会長	吉浦一幸	新庄市スポーツ少年団運営委員
3	副会長	野崎勉	新庄市スポーツ協会（学経）
4	専務理事	荒澤精也	新庄市スポーツ協会（学経）
5	理事	森正一	新庄市スキー連盟副会長
6	理事	伊藤好之	新庄市柔道連盟会長
7	理事	阿部稔	新庄地区野球連盟副会長
8	理事	井上勝人	新庄地区サッカー協会事務局長
9	理事	齋藤和彦	新庄地区バドミントン協会事務局長
10	理事	八欽博幸	新庄ボクシング協会理事長
11	理事	高橋研	新庄地区陸上競技協会会長
12	理事	竹内憲	新庄弓道連盟会長
13	理事	佐々木養記	新庄地区卓球協会会長
14	理事	津藤弘	新庄市バスケットボール協会会長
15	理事	伊藤圭一	新庄市空手道連盟常任理事

監事2人 任期：令和6年定時評議員会終結日～令和8年定時評議員会終結日

1	監事	高橋敏彦	新庄地区ソフトテニス連盟副会長
2	監事	吉田浩志	新庄地区自転車競技連盟事務局長

評議員19人 任期：令和6年定時評議員会終結日～令和10年定時評議員会終結日

区分		氏名	選出元団体・役職
スポーツ協会加盟競技団体	1	星川清昭	新庄地区野球連盟記録部長
	2	高階寿子	新庄地区ソフトテニス連盟副会長
	3	今田幸広	新庄地区自転車競技連盟監事
	4	阿部太悦	新庄ボクシング協会事務局長
	5	阿部文男	新庄弓道連盟副会長
	6	小国由美	新庄地区剣道連盟理事
	7	齊木直利	新庄市柔道連盟事務局長
	8	齋藤秀二	新庄市スキー連盟会長
	9	丹忠一	新庄地区陸上競技協会理事長
	10	奥山貴裕	新庄地区バドミントン協会競技部長
	11	小森卓	新庄地区卓球協会理事長兼事務局長
	12	矢口一郎	新庄地区ソフトボール協会審判部長
	13	田中幸一	合気道新庄道場副道場長
	14	佐藤宏	新庄市空手道連盟事務局長
地域団体	15	森富喜子	新庄市スポーツ推進委員協議会副会長
	16	元木真澄	新庄市スポーツ少年団本部長
学校団体	17	泉谷一彦	最上地区中学校体育連盟会長
	18	栗田忠男	新庄市小学校体育連盟会長
学経	19	佐藤朋子	新庄市健康推進担当課長

令和 7 年度決算報告書

《決算資料》

令和 7 年度決算概要

正味財産増減計算書

貸借対照表

財務諸表に対する注記

財産目録

一般財団法人新庄市スポーツ協会

令和 7 年度決算報告概要

〈概 況〉

一般正味財産の経常収益は、196,734 千円で令和 6 年度比 13,067 千円・7.1%の増収となり、経常費用は 193,591 千円で 10,680 千円・5.8%の増加となった。この結果、一般正味財産増減額は 3,143 千円となった。

また、基本財産に増減は無く当期末残高は 15,000 千円となった。特定資産（基金等）のうち、退職給付引当資産は、退職者がいなかったため、充当分 261,420 円、運用益 2,073 円で期末残高が 6,460 千円となった。スポーツ振興基金は運用益 3,859 円で 6,853 千円となった。法人運営基金は取り崩し▲3,612,400 円、運用益 288 円で 13,266 千円となり、特定資産合計額は 26,579 千円となった。

その他固定資産(有価証券を除く)の合計は、機械の購入があり、期末残高 3,301 千円となった。

〈経常収益〉

経常収益の主な内容で、まず受託事業収益（都市公園管理等）については受託単価の見直しにより 2,208 千円増の 28,169 千円となったほか、指定管理事業についても、人件費・業務委託料の単価見直しや除雪費用の追加補正により 10,485 千円・8.1%増の総額 140,036 千円となった。利用料金収入は、新庄市施設分は 9,117 千円で 50 千円・0.5%の増となった。又、県施設は 3,006 千円で 152 千円・5.3%の増収となり、利用料金総額では 202 千円・1.7%増の 12,123 千円となった。自動販売機収入については 1,978 千円で▲363 千円・15.5%の減収となった。

この結果、経常収益の増減は 13,067 千円・7.1%の増収となった。

〈経常費用〉

経常費用の主な内容で、まず人件費については、賃金の改定、決算期手当 2.0 月分のほか、スキー場・プール等の臨時職員賃金などにより 7,226 千円増の総額 83,311 千円となった。修繕維持費は、総額 3,202 千円で 340 千円増となった。燃料費は総額 5,009 千円で▲299 千円となり、光熱水費は総額 23,369 千円で▲758 千円となったが、それぞれ歳出削減することができた。委託費は、総額 50,303 千円で 2,577 千円増となったが、労務単価の見直しの影響が大きい。また、租税公課（消費税）については、昨年度より 629 千円増加した。

この結果、経常費用の増減は 10,680 千円・5.8%の増加となった。

○当期末正味財産の額

資産合計 74,449 千円 (3,524 千円増) ①

内訳 流動資産 29,559 千円 (運転資金・未収金・前払金・普通預金)

固定資産 44,890 千円

(基本財産 15,000 千円・特定資産 26,579 千円・その他固定資産 3,311 千円)

負債合計 18,580 千円 (1,812 千円増) ②

内訳 流動負債 12,120 千円 (未払金・未払消費税・預かり金等)

固定負債 6,460 千円 (退職給付引当金)

正味財産期末残高=①-②=55,869 千円 (1,712 千円増)

○一般正味財産の増減額

・ 経常収益 A	196,734,221 円
----------	---------------

・ 経常費用 B	193,590,852 円
----------	---------------

〔当期経常増減額〕 $A - B = C$	3,143,369 円
-----------------------	-------------

・ 経常外収益 D	0 円
-----------	-----

・ 経常外費用 E	0 円
-----------	-----

〔当期経常外増減額〕 $D - E = F$	0 円
------------------------	-----

・ 当期法人税・住民税・事業税 G	1,431,100 円
-------------------	-------------

〔当期一般正味財産増減額〕 $C + F - G$	1,712,269 円
---------------------------	-------------

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
4111 基本財産受取利息	1,450	300	1,150
特定資産運用益			
4121 特定資産受取利息	13,635	596	13,039
受取会費			
4143 賛助会員受取会費	182,000	134,000	48,000
事業収益			
4151 自主的活動事業収益	767,700	737,600	30,100
4152 受託事業収益	28,169,381	25,961,548	2,207,833
4154 指定管理事業収益	140,036,000	129,551,000	10,485,000
4155 利用料金収益	12,123,362	11,921,089	202,273
4156 自動販売機等収益	1,978,279	2,341,228	△362,949
受取補助金等			
4161 受取山形県補助金		10,000	△10,000
4162 新庄市補助金	11,778,000	10,900,000	878,000
受取負担金			
4171 加盟団体負担金	255,000	255,000	
4172 スポーツ少年団登録料収入	597,300	605,800	△8,500
雑収益			
4191 受取利息	96,544	26,329	70,215
4193 雑収益	735,570	1,222,868	△487,298
経常収益計	196,734,221	183,667,358	13,066,863
(2) 経常費用			
事業費			
5118 役員報酬	2,445,000	2,220,000	225,000
5111 給料手当	33,626,404	31,029,328	2,597,076
5135 従業員賞与	11,404,800	9,380,300	2,024,500
5112 臨時雇用賃金	19,918,293	18,923,582	994,711
5113 退職給付費用	1,715,040	1,641,136	73,904
5136 法定福利費	8,005,995	7,275,101	730,894
5114 福利厚生費	1,772,629	1,841,938	△69,309
5115 旅費交通費	190,060	325,400	△135,340
5116 通信運搬費	1,059,439	998,864	60,575
5117 減価償却費	901,521	1,032,921	△131,400
5119 消耗品費	5,894,787	5,664,945	229,842
5120 修繕維持費	2,805,682	2,544,313	261,369
5121 印刷製本費	660,825	733,645	△72,820
5122 燃料費	5,008,817	5,307,654	△298,837
5123 光熱水料費	23,368,709	24,126,229	△757,520
5124 賃借料	3,589,748	2,837,341	752,407
5125 保険料	1,746,565	1,526,153	220,412
5126 諸謝金	893,000	816,000	77,000
5127 租税公課	8,258,000	7,624,300	633,700
5128 支払負担金	1,661,850	1,892,474	△230,624
5137 報償費	255,772	229,622	26,150
5129 支払助成金	1,856,400	1,831,600	24,800
5131 委託費	49,697,705	47,120,787	2,576,918
5139 支払手数料	340,369	257,450	82,919
5133 雑費	92,475	91,044	1,431
管理費			
5141 役員報酬	345,000	300,000	45,000

正 味 財 産 増 減 計 算 書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
5142 給料手当	2,392,225	2,203,442	188,783
5140 従業員賞与	866,800	720,000	146,800
5143 退職給付費用	10,000		10,000
5165 法定福利費	637,548	458,465	179,083
5144 福利厚生費	171,779	91,939	79,840
5146 旅費交通費	348,720	287,431	61,289
5147 通信運搬費	99,160	93,585	5,575
5150 消耗品費	196,990	173,632	23,358
5151 修繕維持費	396,440	317,487	78,953
5152 印刷製本費	24,475	60,500	△36,025
5155 賃借料	1,530	2,710	△1,180
5156 保険料	70,000	105,080	△35,080
5158 租税公課	69,366	74,519	△5,153
5159 支払負担金	89,000	33,000	56,000
5167 支払手数料	76,934	91,454	△14,520
5168 委託費	605,000	605,000	
5162 雑費	20,000	20,000	
経常費用計	193,590,852	182,910,371	10,680,481
当期経常増減額	3,143,369	756,987	2,386,382
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
税引前当期一般正味財産増減額	3,143,369	756,987	2,386,382
6111 法人税、住民税及び事業税	1,431,100	204,800	1,226,300
当期一般正味財産増減額	1,712,269	552,187	1,160,082
一般正味財産期首残高	35,257,101	34,704,914	552,187
一般正味財産期末残高	36,969,370	35,257,101	1,712,269
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高	18,900,000	18,900,000	
指定正味財産期末残高	18,900,000	18,900,000	
Ⅲ 正味財産期末残高	55,869,370	54,157,101	1,712,269

貸 借 対 照 表

令和 8年 3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
0002 現金預金	28,878,950	24,600,406	4,278,544
1123 未収金	610,063	729,746	△119,683
1124 前払金	70,044	76,284	△6,240
流動資産合計	29,559,057	25,406,436	4,152,621
2 固定資産			
(1) 基本財産			
1214 定期預金	15,000,000	15,000,000	
基本財産合計	15,000,000	15,000,000	
(2) 特定資産			
1311 退職給付引当資産	6,460,399	6,196,906	263,493
1314 スポーツ振興基金	6,853,313	6,849,454	3,859
1316 法人運営基金	13,265,664	16,872,444	△3,606,780
特定資産合計	26,579,376	29,918,804	△3,339,428
(3) その他固定資産			
1411 建物	3	3	
1412 構築物	9	9	
1413 車両運搬具	11,743	11,743	
1414 什器備品	3,289,040	578,161	2,710,879
1422 投資有価証券	10,000	10,000	
その他固定資産合計	3,310,795	599,916	2,710,879
固定資産合計	44,890,171	45,518,720	△628,549
資産の部合計	74,449,228	70,925,156	3,524,072
II 負債の部			
1 流動負債			
2112 未払金	8,236,609	8,510,816	△274,207
2113 未払法人税等	1,431,100	204,800	1,226,300
2122 未払消費税等	2,501,500	2,394,000	107,500
2114 前受金		11,080	△11,080
2115 預り金	△49,750		△49,750
流動負債合計	12,119,459	11,120,696	998,763
2 固定負債			
2212 退職給付引当金	6,460,399	5,647,359	813,040
固定負債合計	6,460,399	5,647,359	813,040
負債の部合計	18,579,858	16,768,055	1,811,803
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
3112 地方公共団体補助金	3,900,000	3,900,000	
3118 寄付金	15,000,000	15,000,000	
指定正味財産合計	18,900,000	18,900,000	
0016 (うち基本財産への充当額)	(15,000,000)	(15,000,000)	()
0017 (うち特定資産への充当額)	(3,901,377)	(3,900,000)	(1,377)
2 一般正味財産	36,969,370	35,257,101	1,712,269
0020 (うち特定資産への充当額)	(16,217,600)	(20,371,445)	(△4,153,845)
正味財産の部合計	55,869,370	54,157,101	1,712,269
負債及び正味財産合計	74,449,228	70,925,156	3,524,072

財務諸表に対する注記

注 単位はすべて円である。

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

建物	定額法
構築物・什器備品	定率法 ただし平成28年4月1日以後取得の構築物は定額法

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金	従業員に対する退職給付に備えるため、規程に基づく期末要支給額(中退共併用)を計上している。
---------	---

(3) 消費税等の会計処理 税込処理

2. 基本財産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	15,000,000			15,000,000
小 計	15,000,000	0	0	15,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	6,196,906	263,493		6,460,399
スポーツ振興基金	6,849,454	3,859		6,853,313
法人運営基金	16,872,444	5,620	3,612,400	13,265,664
小 計	29,918,804	272,972	3,612,400	26,579,376
合 計	44,918,804	272,972	3,612,400	41,579,376

3. 基本財産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	15,000,000	(15,000,000)	(0)	—
小 計	15,000,000	(15,000,000)	(0)	—
特定資産				
退職給付引当資産	6,460,399		(0)	(6,460,399)
スポーツ振興基金	6,853,313	(2,600,000)	(4,253,313)	
法人運営基金	13,265,664	(1,301,377)	(11,964,287)	
小 計	26,579,376	(3,901,377)	(16,217,600)	(6,460,399)
合 計	41,579,376	(18,901,377)	(16,217,600)	(6,460,399)

4. 固定資産の取得原価、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得原価、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減損累計額	減価償却 累計額	当期末残高
その他の固定資産				
建物	51,366,710	7,154,491	44,212,216	3
構築物	353,710,820	7,554,265	346,156,546	9
車両運搬具	5,451,024	0	5,439,281	11,743
什器備品	11,621,418	0	8,332,378	3,289,040
合 計	422,149,972	14,708,756	404,140,421	3,300,795

5. 実施事業資産

(単位：円)

科 目	当期末残高			
	スポーツの普及、 振興、指導者の育 成と選手育成に関 する事業	スポーツ行事の開 催、表彰及び各団 体組織の強化と補 助活動	スポーツ施設の管 理運営に関する事 業	合 計
建物	0	0	3	3
構築物	0	0	9	9
什器備品	2	0	0	2
合 計	2	0	12	14

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上 の記載区分
運営補助金	山形県	0	0	0	0	一般正味財産
運営補助金	新庄市	0	11,778,000	11,778,000	0	一般正味財産
指定運営補助金	新庄市	3,900,000	0	0	3,900,000	指定正味財産

附属明細表

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているため、省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	5,647,359	813,040			6,460,399

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	摘 要	金額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金		運転資金として	320,588
普通預金	新庄信用金庫／本店	同上	28,558,362
未収金	佐藤総業(株)ほか	自販機借上料、電気料未収ほか	610,063
前払金	(公財)スポーツ安全協会	法人責任保険 令和8年度分ほか	70,044
流動資産合計			29,559,057
2. 固定資産			
基本財産			
定期預金	新庄信用金庫／本店	スポーツ振興事業に充てるため保有している	15,000,000
特定資産			
退職給付引当資産	新庄信用金庫／本店	従業員に対する退職給付に備えるため保有している	6,460,399
スポーツ振興基金	新庄信用金庫／本店	スポーツ振興事業に充てるため保有している	6,853,313
法人運営基金	新庄信用金庫／本店	財団の運営に充てるために保有している	13,265,664
その他の固定資産			
建物	管理棟ほか	サイクルスポーツセンター	3
構築物	競輪場走路補修代ほか	同上	9
車両運搬具	2トントラック	都市公園管理事業用ほか	11,743
什器備品	乗用草刈機、除雪機ほか	スポーツ振興及び指定管理事業に使用	3,289,040
投資有価証券	新庄信用金庫出資金		10,000
固定資産合計			44,890,171
資産合計			74,449,228
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	東北電力株式会社	電気料3月分	1,938,244
	日本年金機構	社会保険料 2,3月分	2,749,532
	従業員	3月給与日割り分及び時間外手当	113,434
	シルバー人材センターほか	業務委託料、燃料代など	3,435,399
未払法人税等	新庄税務署、山形県、新庄市	法人税、県税、市民税	1,431,100
未払消費税等	新庄税務署	消費税等	2,501,500
預り金	新庄税務署	年末調整還付未済額	-49,750
流動負債合計			12,119,459
2. 固定負債			
退職給付引当金		従業員の退職支出に備えるための引当金	6,460,399
固定負債合計			6,460,399
負債合計			18,579,858
正味財産			55,869,370

